

東日本大震災から七年。 グリーンコープは、これからも 復興への歩みに寄り添い続けます

東日本大震災と東京電力福島第一原発の事故から7年。津波の被害が大きかった岩手県と宮城県では、産業の復興や住宅の再建がすすんでいす。福島県では、避難指示が解除される区域が広がり避難先から帰宅する人も増えてきました。しかし、まだまだ多くの地域で立ち入り禁止され、帰還した人も放射能汚染の心配が尽きない不安な日々を送っています。グリーンコープでは、公益財団法人共生地域創造財団(以下、財団)を通して、福島県、宮城県、岩手県で支援を続けています。

今年も「東日本大震災復興支援募金」に取り組みます。募金の申し込みは、カタログGREEN51号(2月26日から配布)のチラシで案内しています。

2017年12月に9人の組合員が現地を訪れ、交流した被災地の方々の話を紹介します。



公益財団法人 共生地域創造財団

宮城県石巻市、岩手県大船渡市、岩手県大槌町で、行政からの委託を受け、仮設住宅及び在宅被災者の見守り支援を行っている。



※3 財団は、3つの団体(NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク、グリーンコープ共同体、生活クラブ連合会)で構成され、組合員からのカンパ金で支えられている。現在3か所で事務所を構え、被災者支援に取り組んでいる。

福島県

一人でも多くの住民に放射能汚染の実態を知らせるために、調査を継続



南相馬市は、福島第一原発の北に位置しています。2015年にグリーンコープが寄贈した2台の放射能測定器(Naiシンチレーション)を使った、土壌汚染の調査が続けられています。

南相馬・避難勧奨地域の会(南相馬市)
代表 小澤洋一さん

放射能汚染の推移・広がりについて、様々な場所を調べ、将来的なデータを蓄積することは将来必ず役に立つと考えます。住民の生活している様々な場所や車道沿い、山の斜面などで土壌を採取し測定しています。いたる所から高い放射能が検出されている状況です。特に放射線による影響を受けやすい子どもたちが心配です。

現在は各地の公民館などで、少人数で住民が集まる場を開き、放射能の危険性と汚染の状況を訴えています。「真実」を伝えることで、それまであまり気に留めなかった人も原発の問題に真正面から向き合い、一緒に考えていくことができると考えています。

花見山を拠点に、集まった人の輪を これからも広げていく

花見山では、震災直後に除染のために地域住民の心よりどこもなつていた桜の木が伐採されましたが、会の呼びかけたカンパにより植樹され、桜が復活しています。グリーンコープも2016年に植樹のカンパに協力しました。

NPO花見山を守る会(福島市)
代表 高橋真一さん



震災から7年が経ちます。花見の時期だけでなく、年間を通してイベントやサロンが開催できています。地域の人が集まる思いの場となり豊かな会話が広がっています。桜の植樹を通してグリーンコープの皆さんを始めとする、全国の賛同者となつていく人たちの島で生きていく人たちの大きな支えになつていきます。

若い人が戻ってくるために、NPO法人シャロームからひまわりプロジェクトの報告がありました。グリーンコープからは3人の組合員が参加し、やまぐちの理事長 佐々木春代さんが、子どもひまわり大使の受け入れや脱原発への取り組みのようすなどを報告しました。

参加した組合員の感想より

※1 ひまわり感謝祭が行われました

グリーンコープは、各単協の施設や福祉施設、物流センター、店舗、組合員宅など、様々なところでひまわりを栽培して種を福島に送る、「ひまわりプロジェクト」に賛同し、福島の子どものための保養活動を支援する取り組みをしています。



2017年度に子どもひまわり大使がグリーンコープを訪れ交流したうすをパネルで展示

ひまわり感謝祭では、「熊本の皆さんに向けて、復興と一緒にがんばりましょう」と言っていた皆さま。子どもたちは「福島の風評被害を払拭したい」「自分も人を助けられる人になりたい」と報告がありました。保護者からは「福島のことを知っていた。県外に出てみて福島は応援されているんだと感じた」と言われました。福島の中

中に居ると分かりづらいこともあるのだと思います。もつと応援していることを伝えていけば皆さんが元気になるのかなと思いました。

グリーンコープ生協くおか
理事長 三原 幸子

※1 福島のNPO法人シャロームは、多くの支援活動の中心として活躍しています。各地の支援活動の報告は、毎月発行されている「ひまわり」に掲載されています。全国各地から寄せられた支援活動の報告は、毎月発行されている「ひまわり」に掲載されています。全国各地から寄せられた支援活動の報告は、毎月発行されている「ひまわり」に掲載されています。

宮城県

いちご栽培を通してつながった人に感謝の気持ちを伝え続ける

斉藤農園(亶理町) 斉藤 竹夫さん



ハウス内で土耕栽培や受粉の説明を受ける組合員

いちご農園を再建することができたのは、一番苦しい時にグリーンコープの皆さんが支援してくれました。7年経った今でも、皆さんとつながることができていることが嬉しい。農業は私たちがの生きがいです。

仕事を通した生きがいづくりと雇用の創出をサポート

一般社団法人
コミュニティスペースすみねこ(女川町)
代表 八木 純子さん



手づくり品の作業体験をする組合員

2018年1月30日
八木さんが九州北部豪雨の被災地を訪問しました。

八木さん(写真中央)は仮設住宅(朝倉市)でのグリーンコープの炊き出し支援に参加しました。さんまのすり身を使った、おいしい汁みれ汁が振る舞われました。

2017年度
fromネグロス・クリスマスカンパ
最終確定額 **4,871,116円**
ご協力ありがとうございました

集められたカンパは*APLAをとおしてアジアの人々の自立に役立てられます。
*アジアでの農を軸とした地域づくりを目指し、出会いや交流の場の創造をすすめるNPO法人

※2 かき養殖の復興が実現 蛤浜・折浜

震災直後にグリーンコープが最初に支援に入りました。避難場所の公民館で亀山夫妻と出合い、津波で破壊された浜の復興、かき養殖の再開に向けて、物的・人的支援を続けてきました。かき養殖は、近年収量も安定してきました。就労支援の一環として若手の雇用もすすめています。

2017年度は特に実入りのいいかきが育ち、関東地方へ高値での出荷も実現し、順調に復興を遂げることができています。

震災後、グリーンコープの支援物資をいただきながら、仮設住宅で孤独に過ごすお母さんたちと布草履作りを始めました。手作り品の販売を通して、多くの人の生きがいを生みだしています。漁師だったお父さんたちもイチジクや唐辛子の栽培を始め、継続した取り組みとなつていきます。

3.11キャンドルナイト

てんきを消して、スローな時間をすごしながら、本当に大切なものは何かを考えよう!

「震災で亡くなられた方への追悼」「被災地の復興への願い」「原発のない社会への願い」。てんきを消して暗闇にキャンドルを灯し、一人ひとりが被災地に思いを馳せ、本当の幸せとは何かを考える時間。原発をなくしていくために、私たちに何ができるのかを考える機会になるはずですよ。

高齢者が元気になるコミュニティをつくる

川内村は福島第一原発から10〜30km圏内にあるため、一時全村民が避難した地域です。財団がキッチンカーを貸出して支援しているNPO昭和横丁では、2014年から避難先の郡山市の仮設住宅でキッチンカー等による支援を開始し、仮設住宅の間接後は川内村で継続して支援しています。

NPO昭和横丁(川内村) 代表 志田篤さん

川内村は全て避難指示解除となり、仮設住宅から自宅に戻ったのは60代70代の高齢者が中心です。近くには店もなく、買物も困難な状況で、財団からお借りしたキッチンカーで食事を提供したり、朝市を継続しています。

村に戻った人たちが新しい関係を紡いでいきました。

「結の力」で、村民同士が暮らしやすい地域を取り戻す

葛尾村は福島第一原発から20〜30km圏内に位置し、現在、一部の帰還困難区域を除き避難指示が解除された地域です。村の復興に向けて地域の中で活動が始まっています。これから支援が始まる予定です。

一般社団法人 葛力創造舎(葛尾村)
代表 下枝 浩徳さん



葛尾村は、現在高齢者を中心に150人が帰村しています。原発事故の風評被害により、米の価格が下落したことや、後継者不足、高齢化を理由に、農業を辞めて田畑を汚染土の仮置き場として提供している人も多い状況です。

避難先から戻っていない人が多く、近所同士が疎遠になつてしまっている。高齢者の孤立を心配して声をかけるところから始めました。話すことで村民の皆さんが生き生きと生きてきたと実感しています。

村民同士のつながりを結び直せないかと考え、

地域でのおまつりや、村外の人を対象にした田植えや物づくりを体験できるバスツアーを企画しました。村の人々が力を合わせてイベントに取り組み、村本来の「結の力」が戻つてきます。地域の人々が集まる場をつくることで、力を合わせ復興につなげていくのではないかと考えています。

若い人と高齢者が一緒に楽しみながら、様々な人となつていきたく思います。

募金にご協力ください

3月5日〜17日の2週間、東日本大震災復興支援募金の申し込みを受け付けています。

共同購入申込書で **006** 東日本大震災復興支援募金 一口200円
お申込みください。 **007** 東日本大震災復興支援募金 一口500円

*詳しくはカタログGREEN51号(2月26日週配布)のチラシをご覧ください。